

マーケティング観点別評価の進め方

観察、議事録（記録シート）、ワークシート、単元テストにより評価を行っている。

①観察、議事録（記録シート）

「主体的に学習に取り組む態度」で用いている。

グループ学習で対話を行おうとしている個々の取組や役割などを議事録（記録シート）から見取る。特徴的な様子を見出している点については事前に準備している、座席表を元に観察シートに記入を行う。

②ワークシート

「主体的に学習に取り組む態度」「思考・判断・表現」「知識・技術」で用いている。

「主体的に学習に取り組む態度」の観点で行う場合には、ワークシートの自己評価や相互評価は観点別評価に馴染まず分析的な評価とせず、それらを考慮しながら振り返りの記述で自らの学習を調整できているかを単元のまとまりの中で読み取る。

「思考・判断・表現」の観点で行う場合には、思考の過程を記述できるようワークシートの作り方を工夫し、課題について知識技術を活用し思考しながら判断した結果を表現できているか。また、プロジェクト学習ごとにポートフォリオで資料収集力及び資料活用力を単元のまとまりごとで行っている。

③単元テスト

「知識・技術」で用いている。

「知識・技術」の観点で行う場合には、各設問への解答を基に、知識の習得や理解の状況を読み取り評価する。得られた知識を活用しながら文章で説明させたりする。

上記の方法で、評価した結果、「十分満足できる」状況（A）と判断した具体例及び「努力を要する」状況（C）と判断した生徒への指導の手立てについて、各観点からまとめると次のようになる。

第1章 マーケティング概要

評価観点	評価方法	A	B	C
		十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
【主体的に学習に取り組む態度】	活動（CASE教材）観察	建設的な発言を行うことができ、他のメンバーに対しても配慮し、課題達成に大いに貢献することができる。	話し合いをリードし意見を整理し関連付けたりして発言でき、課題達成に貢献することができる。	話し合いに参加しているものの、自分の課題に関する情報が全く伝わっていない。 (知識を活用して自ら考えることや対話の重要性を教師と考えながら取り組むきっかけを与える。)
【主体的に学習に取り組む態度】	内容（質問会議）学習の調整	質問会議に主体的に取り組み、その内容を踏まえて活動を振り返り、改善を図ろうとしている。 他者の意見や助言などを踏まえて活動を振り返り、新たな課題を発見し、改善を図ろうとしている。	質問会議に主体的に取り組み、その内容を踏まえて活動を振り返り、改善を図ろうとしている。	質問会議に主体的に取り組んではいるが、その内容を踏まえて活動を振り返り、改善を図ろうとまでは至っていない。 (知識を活用して自ら考えることや他者の協力を得ながら解決策を見出し学習方法を振り返ることの重要性を教師と考えながら取り組むきっかけを与える。)
【思考・判断・表現】	内容（質問会議）	マーケティングの理論のワードを示すことができ、理論以外にも多角的に物事を考え記述することができる。	ソーシャルマーケティング、STPの内容を明確に記述することができる。	内容は示すことはできているが、不明な所も多く理解しにくい。 (マーケティングの4PやSTPなどの具体的な事例を整理させマーケティング活動の大切さに気付かせる。)

※ () …努力を要する生徒の手立て

観点別評価について具体的な例

1 単元について

(1) 単元名「第1章 現代市場とマーケティング」

1. 現代市場の特徴 2. マーケティングの概要」

(2) 単元の概要と目標

何ができるようになるか	
市場環境の変化、マーケティングの発展など現代市場におけるマーケティングに関する知識などを基盤として、マーケティングの意義と課題について自らの考えをもつとともに、マーケティングについての意識と意欲を高め、組織の一員として役割を果たすことができるようになる。	
何を学ぶか	どのように学ぶか
<ul style="list-style-type: none"> ・日本における生産・流通・消費の動向、人口動態などマーケティングを取り巻く市場環境の変化を学ぶ。 ・環境分析、セグメンテーション、標的市場の選定、ポジショニング、マーケティングミックスの考え方及びマーケティング管理の重要性を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足の実現、顧客の創造、顧客価値の創造などマーケティングの考え方に広がりを持たせる活動。 ・マーケティングに関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う活動。

(3) 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
市場環境の変化、現代市場におけるマーケティングに関する知識を身につけ整理することができる。	マーケティング活動の具体事例を知識と技術を基に思考を深め適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	自ら情報を集め、マーケティングに関する具体的な事例を自ら知識を活用しながら自ら思考し粘り強く主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

(4) 指導と評価の計画 (7) 時間

次 程	学習活動	評価の観点			評価規準 ・評価方法
		知	思	主	
第 一 次 (3 時 間)	<ul style="list-style-type: none"> ■現代市場の動向を整理し、物ばなれ変化、わが国の人口ピラミッドから統計を読み取り、気付いたことをワークシートに整理する。 ■ワークシート記入 <ul style="list-style-type: none"> ・生産方式の変遷と多品種少量生産の必然性、産業構造の変化とサービス経済化の傾向を理解させる。 ・マーケティングの全体像をつかむとともに、内容と手順、管理手法を理解させる。 ■グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・現代市場の特徴的な要素を、具体的な事例を元に把握させる。 ■単元テスト 	●			<ul style="list-style-type: none"> 【知・技】 【単元テスト】 ・マーケティングの概要を理解できる。
第 二 次 (4 時 間)	<ul style="list-style-type: none"> ■グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業を担うビジネスに関するケース教材「自然のバイオリズムに寄りそうお茶づくり」を読み、身近な地域企業のマーケティングの動向を捉える。 ・振り返り 			●	<ul style="list-style-type: none"> 【主体】 【観察 議事録】 ・主体的かつ協働的に活動しようとしている。

■質問会議

- ・前時のケース教材や調べた内容を元に、上水園のマーケティングについて質問方式で深める。
- ・振り返り

【思判表】

[ワークシート]

- ・上水園のSTP分析、4Pを考えることができる。

【主体】

[ワークシート]

- ・振り返り改善しようとしている。

第1章 単元ごとの総括

観点 評価方法 次程	知識・技術 (40点)	思考・判断・表現 (30点)	主体的に学習に取り組む態度 (30点)	
	単元テスト	ワークシート	ワークシート 振り返り	観察 議事録
第一次	35			
第二次		20	5	10
総括	B	B	A	
評定	4			

1章 単元の観点別評価表

「観点別学習状況の評価」は、【A:十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する】の3段階

観点	知識・技術	思・判・表		主体		観点別学習状況			100	5段階				
		15	15	15	15	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
得点	40	15	15	15	15									
観	体系的・系統的に理解している。	学習後	学習後	単元における評価	上水園学び	学習の調整	単元における評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総括評価	単元における評定		
点		STP	4P		WS								WS	
評価方法	単元テスト	WS	WS		WS	WS								
番号	氏名										累計	評定		
		76	30	10	10	20	10	10	20	B	B	B	70	4
		94	38	10	10	20	15	15	30	A	B	A	88	5
		78	31	10	10	20	10	10	20	B	B	B	71	4
		72	29	10	10	20	15	10	25	A	B	B	74	4
		88	35	10	10	20	10	5	15	B	B	A	70	4
		68	27	10	10	20	10	10	20	B	B	B	67	4

評価表

生徒へフィードバック

個票

観点	知識・技術	思・判・表		主体		観点別学習状況			100	5段階				
		15	15	15	15	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
得点	40	15	15	15	15									
観	体系的・系統的に理解している。	学習後	学習後	単元における評価	上水園学び	学習の調整	単元における評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総括評価	単元における評定		
点		STP	4P		WS								WS	
評価方法	単元テスト	WS	WS		WS	WS								
番号	氏名										累計	評定		
		88	35	10	10	20	10	5	15	B	B	A	70	4

単元の評価から、自らの課題や反省点、次への学びにどのようにつなげていきたいですか。

単元テストは思ったより点数が低かったです。そのため、満点をとること
ができていないので、次回の単元では満点を目標とします。
そして、粘り強く、学習の調整には評価が低く、今回の学習で習得した
「STP」「4P」の理解が不十分だったので、次回はいかにしっかりと理解し、
明確にまとめたいです。

都城商業高校におけるマーケティング観点別学習状況の評価と評定

観点別学習状況の評価・・・各観点の規準に対する得点

- 「十分満足できる」状況と判断されるもの : A
 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの : B
 「努力を要する」状況と判断されるもの : C

評定・・・目標に準拠した評価であり、観点別を総合して1～5までの5段階で表します。

観点項目	知識・技術 (40%)	思考・判断・表現 (30%)	主体的に学習に取り組む態度 (30%)	評定基準	評定
A 80%以上	32点～40点	24点～30点	24点～30点	80%以上	5
80%未満 B 50%以上	20点～31点	15点～23点	15点～23点	80%未満 65%以上	4
				64%未満 40%以上	3
50%未満 C	0点～19点	0点～14点	0点～14点	40%未満 30%以上	2
				30%未満	1

< 3観点 知識・技術 40% 思考・判断・表現 30% 主体的に学習に取り組む態度 30%の場合 >

AAA→80～100点→5	BAA→68～91点→4～5	CAA→48～79点→3～4
ABA→71～86点→4～5	BAB→59～84点→3～5	CAB→39～72点→2～4
AAC→56～84点→3～5	BAC→44～75点→3～4	CAC→24～63点→1～3
ABB→62～86点→3～5	BBB→50～77点→3～4	CBB→30～65点→2～4
ABC→47～77点→3～4	BBC→35～68点→2～4	CBC→15～56点→1～3
ACC→32～68点→2～4	BCC→20～59点→1～3	CCC→0～47点→1～3

以上のようにマーケティングにおける各章単元で観点別学習状況の評価と評定は、生徒一人一人に学習状況を把握させ、早い段階でフィードバックを行うことで、よりよく学習を進めるための評価と考えます。是非、観点別学習状況の評価を受け取ったら自らの学習を振り返り、次へ学習の改善を行ってください。